



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月14日

上場会社名 サンヨー建設株式会社
 コード番号 1841 URL <https://www.sanyu-co.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 馬場 宏二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 下瀬川 泰

TEL 03-3727-5752

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	5,413	6.0	3	90.0	46	42.9	40	12.8
2021年3月期第3四半期	5,108	13.7	35	84.2	81	65.3	46	73.6

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 41百万円 (28.9%) 2021年3月期第3四半期 57百万円 (74.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	11.25	
2021年3月期第3四半期	12.96	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	13,898	11,001	79.2
2021年3月期	13,277	11,034	83.1

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 11,001百万円 2021年3月期 11,034百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		10.00		15.00	25.00
2022年3月期		10.00			
2022年3月期(予想)				15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,100	8.0	170	107.4	180	13.8	130	221.0	36.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	4,000,000 株	2021年3月期	4,000,000 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	415,032 株	2021年3月期	432,056 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	3,577,402 株	2021年3月期3Q	3,560,144 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P2.「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中で、このところ持ち直しの動きがみられました。今後は、経済社会活動が正常化に向かい、各種施策の効果や海外経済の改善により、景気が持ち直していくことが期待されます。ただし、変異株をはじめ感染症による内外経済への影響や金融資本市場の変動等の影響も注視する必要があります。

建設業界におきましては、公共工事は高水準で推移しているものの、このところ弱含んでおります。設備投資も持ち直しに足踏みがみられ、原材料や建設資材価格の高騰・労務単価の上昇もあり、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は5,413百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益3百万円（前年同期比90.0%減）、経常利益46百万円（前年同期比42.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益40百万円（前年同期比12.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[建築]

建築事業につきましては、受注高7,468百万円（前年同期比77.0%増）、完成工事高3,772百万円（前年同期比9.8%増）、セグメント利益92百万円（前年同期比48.4%減）となりました。

[不動産]

不動産事業につきましては、不動産事業収入1,105百万円（前年同期比4.3%減）、セグメント利益346百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

[金属製品]

金属製品事業につきましては、金属製品売上高290百万円（前年同期比3.7%増）、セグメント損失1百万円（前年同期はセグメント損失3百万円）となりました。

[ホテル]

ホテル事業につきましては、ホテル事業売上高245百万円（前年同期比3.0%増）、セグメント損失114百万円（前年同期はセグメント損失107百万円）となりました。

(2) 財政状態

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、13,898百万円となり、前連結会計年度末に比べ621百万円増加いたしました。これは主に不動産事業支出金が317百万円増加したことによるものであります。

資産合計の内訳は流動資産合計6,309百万円、固定資産合計7,588百万円となりました。

流動資産の主な内訳は、現金及び預金4,753百万円、不動産事業支出金357百万円であります。

固定資産の内訳は、有形固定資産7,033百万円、無形固定資産52百万円、投資その他の資産502百万円であります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、2,897百万円となり、前連結会計年度末に比べ654百万円増加いたしました。これは主に未成工事受入金412百万円の増加によるものであります。

負債の内訳は流動負債合計1,849百万円、固定負債合計1,048百万円となりました。

流動負債の主な内訳は、支払手形・工事未払金等786百万円、未成工事受入金601百万円であります。

固定負債の主な内訳は、長期借入金138百万円、退職給付に係る負債270百万円であります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、11,001百万円となり前連結会計年度末に比べ33百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年5月19日の「2021年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,707,698	4,753,303
受取手形・完成工事未収入金等	547,479	851,488
未成工事支出金	12,115	131,220
販売用不動産	402,962	42,038
不動産事業支出金	40,542	357,635
商品及び製品	16,497	22,103
原材料及び貯蔵品	37,450	54,894
仕掛品	10,975	10,659
その他	102,415	86,486
流動資産合計	5,878,136	6,309,830
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,212,150	2,161,216
構築物（純額）	20,026	22,758
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	60,668	53,850
土地	4,534,677	4,762,028
リース資産（純額）	12,063	5,329
建設仮勘定	—	28,191
有形固定資産合計	6,839,586	7,033,376
無形固定資産		
その他	53,290	52,554
無形固定資産合計	53,290	52,554
投資その他の資産		
その他	506,460	502,914
投資その他の資産合計	506,460	502,914
固定資産合計	7,399,337	7,588,844
資産合計	13,277,474	13,898,675

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	590,724	786,302
短期借入金	16,008	20,947
未払法人税等	96,733	22,655
未成工事受入金	189,842	601,909
引当金	8,024	42,162
その他	305,747	375,246
流動負債合計	1,207,081	1,849,223
固定負債		
社債	60,000	30,000
長期借入金	111,984	138,373
退職給付に係る負債	259,400	270,875
その他	604,709	608,950
固定負債合計	1,036,094	1,048,198
負債合計	2,243,176	2,897,422
純資産の部		
株主資本		
資本金	310,000	310,000
資本剰余金	317,865	318,869
利益剰余金	10,678,062	10,628,938
自己株式	△360,455	△346,257
株主資本合計	10,945,472	10,911,551
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	88,825	89,701
その他の包括利益累計額合計	88,825	89,701
純資産合計	11,034,298	11,001,253
負債純資産合計	13,277,474	13,898,675

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高		
完成工事高	3,435,819	3,772,666
不動産事業売上高	1,155,041	1,105,550
兼業事業売上高	517,993	535,288
売上高合計	5,108,854	5,413,504
売上原価		
完成工事原価	3,256,720	3,680,194
不動産事業売上原価	819,968	758,876
兼業事業売上原価	629,644	651,177
売上原価合計	4,706,333	5,090,249
売上総利益		
完成工事総利益	179,098	92,471
不動産事業総利益	335,072	346,673
兼業事業総損失(△)	△111,651	△115,889
売上総利益合計	402,520	323,255
販売費及び一般管理費	367,123	319,719
営業利益	35,396	3,536
営業外収益		
補助金収入	32,895	31,194
受取利息	15	19
受取配当金	10,814	9,345
その他	4,766	5,795
営業外収益合計	48,491	46,355
営業外費用		
支払利息	2,378	396
リース解約損	-	2,929
その他	-	0
営業外費用合計	2,378	3,326
経常利益	81,509	46,565
特別利益		
固定資産売却益	94	-
受取損害賠償金	-	17,330
特別利益合計	94	17,330
税金等調整前四半期純利益	81,604	63,896
法人税、住民税及び事業税	34,093	23,492
法人税等調整額	1,365	158
法人税等合計	35,458	23,650
四半期純利益	46,145	40,245
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,145	40,245

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	46,145	40,245
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,652	876
その他の包括利益合計	11,652	876
四半期包括利益	57,798	41,121
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	57,798	41,121
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

当社及び国内連結子会社は、従来は請負工事契約に関して、進捗部分について成果の確実性が認められる工事には工事進行基準を、それ以外の工事には工事完成基準を適用しておりました。これを第1四半期連結会計期間より、一定の期間にわたり充足される履行義務については、履行義務の充足に係る進捗度を見積り、当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識する方法に変更しております。ただし、契約における取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短い工事契約については代替的な取扱いを適用し、一定の期間にわたり収益を認識せず、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識しております。なお、履行義務の充足に係る進捗率の見積りの方法は、履行義務の結果を合理的に測定できる場合は、見積総原価に対する実際原価の割合(インプット法)で算出しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高へ与える影響はありません。また、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響もありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	建築	不動産	金属製品	ホテル	計	
売上高						
外部顧客への売上高	3,435,819	1,155,041	279,869	238,123	5,108,854	5,108,854
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	2,733	—	2,733	2,733
計	3,435,819	1,155,041	282,603	238,123	5,111,588	5,111,588
セグメント利益又は損失(△)	179,098	335,072	△3,651	△107,999	402,520	402,520

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	402,520
全社費用(注)	△367,123
四半期連結損益計算書の営業利益	35,396

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	建築	不動産	金属製品	ホテル	計	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	3,772,666	1,105,550	290,117	245,170	5,413,504	5,413,504
外部顧客への売上高	3,772,666	1,105,550	290,117	245,170	5,413,504	5,413,504
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	11,745	-	11,745	11,745
計	3,772,666	1,105,550	301,863	245,170	5,425,250	5,425,250
セグメント利益又は損失(△)	92,471	346,673	△1,113	△114,775	323,255	323,255

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	323,255
全社費用（注）	△319,719
四半期連結損益計算書の営業利益	3,536

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

（会計方針の変更）に記載のとおり、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に變更しております。当該変更による影響はありません。